



生活支援サポーター養成講座を開催しました



令和5年2月17日（金）宇陀市医療介護あんしんセンターにて、生活支援サポーター養成講座を開催しました。講師に、葛城市社会福祉協議会 田口 研一郎氏とニチイケアセンター榛原 奥村 摂世氏をお招きし、葛城市での住民の方同士の支え合いや地域とのつながりについてどのようにされているのか事例紹介をしていただきました。また、グループディスカッションでは、ご利用者さんのお宅へ訪問した際のコミュニケーションの取り方について、意見交換を行いました。

主な 内容

- P2 令和5年度事業計画
- P4 令和5年度 当初予算
新規採用者と退職者のお知らせ
- P5 「楽しい手話教室」（基礎課程）受講者募集
いきいきサロン養成講座を開催しました
介護者家族の会「やすらぎの会」について
- P6 相談日のお知らせ / リサイクル情報 / 善意銀行
赤い羽根共同募金にご協力いただきました



令和5年度事業計画

少子・高齢化や核家族化の進行は、生活様式、価値観の多様化など地域や家族を取り巻く環境に大きく変化をもたらしています。併せて社会的孤立、生活困窮、虐待、権利侵害等の複合的な生活課題も顕在化しています。

また、コロナ禍の影響により人々の活動や交流、就業・雇用情勢に大きな制約や制限をもたらす、生活困窮者の急増のほか、住民の社会参加、交流活動やボランティア活動、地域での支え合い・見守り活動にも大きな影響を及ぼしました。

そうした中、地域活動は、「中止や延期」の割合が減りつつあり、再開へ向け動き始め、この流れはさらに進むことが期待されます。

社会福祉協議会では、地域活動の再開へ向けた支援、新たな困窮者への支援等、地域住民及び福祉活動に関わる組織や社会福祉関係団体等の協働により、その解決に向けた取り

組みを進めていきます。

また、障害児通所支援サービスにつきましても、人材確保が困難な状況の中、職員の処遇改善を図り、サービスの質を落とすことなく、安定的にサービスを提供し続けていけるように取り組みます。

このような状況を踏まえ、社会福祉協議会では防災や地域福祉分野においても、デジタル化に積極的に取り組み、宇陀市地域福祉活動計画に基づき、制度・分野ごとの「縦割り」や「支える側」「支えられる側」という関係を超えて、一人ひとりが生きがいや役割を持ち、助け合いながら暮らしていくことのできる「地域共生社会の実現」をめざし、多様な組織・団体等とのつながり、行政や専門職等の多職種・多機関のネットワークによる総合的な相談支援体制の構築を進め、切れ目のない支援の実現に向けた事業を推進していきます。

重点目標

- ・福祉のまちづくりに向けてのネットワークづくり
- ・ボランティア事業の推進
- ・地域福祉活動の推進強化
- ・成年後見機能と権利擁護支援の充実
- ・生活支援の仕組みづくり
- ・総合相談支援体制の充実

Ⅱ 主な事業内容 Ⅱ

1 地域福祉活動計画の進捗管理と計画見直しに向けての準備

宇陀市と相互に連携し地域福祉の推進を効果的に実施していくため、地域住民をはじめ行政・関係機関との連携を図ります。地域力を活かし、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、住民主体の地域支え合いの仕組みづくりに関する取り組みを効果的かつ効果的に実践し、進捗状況と課題を把握し、事業の遂行について適切な進捗管理を行います。

また、4年目となる地域福祉活動計画は、5年目の令和6年度に向け、計画の進捗状況を確認しながら必要な見直しを行えるよう準備を進めます。

3 地域福祉活動・地域づくりの推進

◆いきいきサロン
高齢者の交流や仲間づくりの場、介護予防の場として、継続的な活動につながる運営支援を行います。

◆お元氣コール
一人暮らし高齢者等に安否確認を電話で行い、孤独感の解消を図ります。

◆高齢者等サポート隊
高齢者、障がい者など誰もが地域の中で安心して生活していくために、見守り・声かけ訪問活動等の支援活動を行います。

◆ワンコインライフサポート
高齢者や障がい者等の日常生活上の困りごとに対して、ボランティアの方がちよつとした家事援助などを行います。

◆らくらくバスの運行
移動に困難な地域の一部で日常生活の便宜を図るため運行します。

◆声の便り広報
目の不自由な方に「広報うた」、「社協だより」等をCDやテープに録音し、貸し出します。

◆絵手紙通信
一人暮らし高齢者等に絵手紙を送り、心の交流を図ります。

2 安心安全ネットワークづくり

地域住民、自治会、民生委員・児童委員、まちづくり協議会等との協働により、住み慣れた地域で共に暮らせるよう、身近な地域の中で、お互いの「さりげない気づかい」や「ちよつとした目配り」が行えるような、見守り体制を構築し、支援体制を推進します。

◆生活支援体制整備

高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持って生活が続けられるよう、地域の実情や住民ニーズに合った助け合い・支え合いの仕組みづくりについて取り組みます。

4 相談支援・生活支援・権利擁護の推進

◆総合相談

- ① 日常的な総合相談
- ② 重層的支援相談
- ③ 専門相談（弁護士・精神科医相談）

◆生活福祉資金貸付

低所得者世帯や高齢世帯、障がい者世帯等の生活を経済的に支えるため、生活福祉資金の相談と貸付を行います。

◆緊急食料支援（フードレスキュー）

生活に窮迫した相談者に対して、一時的に食料品の提供を行います。

◆日常生活自立支援

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など、判断能力が不十分な方の権利を擁護し、安心した生活を送れるよう支援します。

◆法人後見

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者など、意思決定が困難な方に対し、財産管理や身上監護を行い、安心して日常生活を送ることができるよう支援します。

◆家計改善支援

家計に課題を抱える生活困窮者からの相談に応じ、相談者自身が家計を管理できるように、早期の生活再生を支援します。

◆子どもの学習支援

学習の習慣を身に付けるとともに、自らの能力を伸ばし社会で自立していく力など、子どもの将来に向けた包括的な支援をします。

◆家族介護教室

高齢者等を自宅で介護している家族等の方に、介護の方法や健康づくりに関する講話等を行います。

◆家族介護者交流

日頃の介護の悩みや情報交換等の親睦交流を行い、心の癒しや心身のリフレッシュを図ります。

◆福祉用具貸与（車椅子の貸出）

市内に居住し、一時的もしくは臨時的に車椅子の貸出を行います。

5 権利擁護センター（ほっとサポート）の運営

認知症、知的障がい、精神障がい等、判断能力が十分でない方が、権利を侵害されることなく住み慣れた地域で安心して生活できることをめざして権利擁護に関する事業を実施し、成年後見制度の利用促進と権利擁護体制整備を図ります。

6 重層的支援体制整備の推進

分野別の支援体制では対応しきれないような「複雑化・複合化した支援ニーズ」に対応する包括的な支援を介護福祉課・医療介護あんしんセンター等の福祉関係各課と協働しながら、アウトリーチ等を通じた継続的支援に取り組みます。

7 ボランティアセンター事業の推進

住民による自主的なボランティア活動が展開しやすい環境を整え、ボランティア活動を支援し、地域住民が幅広く、様々な分野のボランティア活動が推進できるよう、ボランティア育成及びボランティア活動拠点の機能強化・体制整備を図ります。

◆手話奉仕員養成

◆聞こえのサポーター養成

◆ライフサポーター養成

8 障害児通所支援児童発達支援事業所にじじいところあらの運営

市内にお住まいの就学前の2〜5歳児のお子さまで、医療機関や臨床心理士からの診断又は発達支援を受けることを勧められている方に、

個々の発達に応じた支援や活動を行います。

「個別計画」に基づき、一人ひとりの心身の成長を促すとともに、自立した生活を営むことができるよう基礎となる力を育て支援します。

9 募金活動及び団体事務

- ・宇陀市共同募金委員会の運営
- ① 運営委員会及び審査委員会の開催
- ② 募金活動及び助成事業の効果的な広報、啓発事業の推進
- ③ 共同募金配分事業
- ・宇陀市共同募金運動の展開
- ・宇陀市善意銀行の運営
- ・宇陀市老人クラブ連合会の事務

10 社会福祉協議会の基盤強化

- ・法令に遵守した会務運営
- ・経営管理体制の強化
- ・事務局体制の整備と事務事業の効率化
- ・労務管理の適正化
- ・自然災害対策の推進
- ・広報啓発、その他



令和5年度 当初予算をお知らせします

収入

単位：円

区 分	予算額
寄附金収入	149,000
経常経費補助金収入	66,674,000
市補助金	61,684,000
共同募金配分金	4,990,000
受託金収入	30,973,000
市受託金	29,805,000
県社協受託金	868,000
その他の受託金収入	300,000
事業収入	867,000
利用料	867,000
障害福祉サービス等事業収入	15,005,000
障害児通所給付費	14,949,000
利用者負担金	56,000
その他の収入	12,000
合 計	113,680,000

支出

単位：円

区 分	決算額
総務費支出	82,717,000
事業費支出	11,082,000
日常生活自立支援	30,000
民生委員実費弁償	132,000
地域福祉活動推進	1,834,000
らくらくバス運行	2,639,000
いきいきサロン	307,000
生活支援体制整備	158,000
介護教室・介護者交流	75,000
聞こえのサポーター養成	111,000
手話奉仕員養成	373,000
高齢者等サポート隊	67,000
善意銀行	150,000
成年後見	541,000
権利擁護センター	1,306,000
家計改善支援	349,000
児童発達支援	2,521,000
療育教室支援	224,000
ライフサポート	54,000
ワンコイン生活支援	211,000
事務費支出	9,142,000
共同募金配分金事業費支出	4,990,000
助成金支出	2,208,000
固定資産取得支出	438,000
積立資産支出	200,000
その他の支出	2,903,000
合 計	113,680,000

予算総額

113,680,000円

新規採用者と退職者のお知らせ

■新規採用 4/1 付

▷ [総務福祉課 主事] 高田 菜央

■退職 2/28 付

▷ 吉田 かわり [総務福祉課 係長]





「楽しい手話教室」(基礎課程)受講者募集

耳の不自由な方との交流やボランティア活動をするために、日常的なコミュニケーションがとれるよう楽しく手話を学んでみませんか。

日 時	令和5年5月25日～令和6年1月11日までの毎週木曜日 全30講座 午後1時30分～午後3時00分（8月17日、11月23日、12月28日、1月4日は休み）
場 所	農林会館（榛原下井足825）
対 象	次の全ての条件に該当する方 ① 宇陀市内在住・在勤・在学の方 ② 原則として、全ての課程（30講座）を受講できる方 ③ 手話教室の入門課程を修了された方、もしくは、手話で挨拶、自己紹介程度の会話が可能な方
定 員	20名（先着順）
費 用	テキスト代 3,300円（講座受講料は無料） ※令和4年度にテキストを購入された方は、そのままご使用いただけます。
申し込み	5月18日（木）までに宇陀市社会福祉協議会へ申し込んでください。 TEL：0745-84-4116 IPTEL：0745-88-9202 （申込者が少ない場合は、今年度の講座を中止する場合があります。）
そ の 他	全講座のうち8割以上出席された方に修了証をお渡しします。

いきいきサロン養成講座を開催しました。

いきいきサロンのボランティア代表者の方々が参加してください、今後各地域のサロンでもできるように、作り方を学ばれました。今回は手作りの『写真ボード』を作りました。ピンクや水色や黄色などカラフルな写真ボードができました。



介護者家族の会『やすらぎの会』



「やすらぎの会」は、毎月第4火曜日の午前10時から菟田野地域事務所で開催しています。体験談を話し合ったり、相談をしたり、日帰り交流会等を通じて介護者の心と体のリフレッシュに努めています。

同じ立場の方たちと一緒に分かち合いながら、リラックスした雰囲気の中開催しています。

相談日のお知らせ

弁護士による福祉専門相談

【要予約 各日先着2件】

■日時 5月9日(火)
6月13日(火)
午前10時～正午まで

精神科医による専門相談

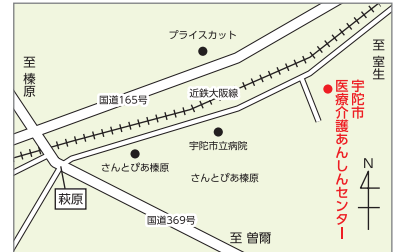
【要予約 各日先着2件】

■日時 5月15日(月)
6月12日(月)
午後2時～午後4時まで

場所・申込先

宇陀市社会福祉協議会 けんりようご 権利擁護センター ほっとサポートうだ
(宇陀市榛原福地28番地の1 医療介護あんしんセンター内3階)
☎ 0745-88-0778

※弁護士・精神科医の相談日時と場所は、変更する場合があります。



リサイクル情報

★申し込みは、宇陀市社会福祉協議会までご連絡ください。
☎0745-84-4116 IP☎0745-88-9202

宇陀市社会福祉協議会では『もったいない』そんな心を大切に、家庭にある不用品を譲りたい人、求める人の仲介を行っています。ただし、家電製品は取り扱っておりません。譲っていただく品物は、希望者が現れるまでご自宅で保管していただきます。希望者が現れるまでに処分されましたら、宇陀市社会福祉協議会までご連絡ください。

譲ります

- 学習机
- 植木鉢（陶器、プラスチック）
- 折りたたみベッド（シングルサイズ）



譲ってください

- 自転車（子どもも乗せられる）
- 子ども用三輪車（手押し棒付き）



善意銀行

宇陀市善意銀行に次の方から預託いただきました。厚くお礼申し上げます。（2/1～3/31受付分）

◆匿名…63円切手×200枚（絵手紙用として）



赤い羽根共同募金 ご協力いただきました

- ・榛原東小学校 様
 - ・室生下田口胎中自治会 様
 - ・榛原萩乃里自治会 様
- ※宇陀おもちゃ病院様には、募金箱設置にご協力いただきました。

社会福祉法人 宇陀市社会福祉協議会

〒633-2221 奈良県宇陀市菟田野松井486番地1
(菟田野地域事務所内3F)

部署	電話番号	IP電話	FAX番号
総務福祉課	0745 84-4116	0745 88-9202	0745 84-3600

宇陀市社会福祉協議会ホームページ

<http://www.udashi-shakyo.jp/>



～ほっとひといき～

夏も近づく八十八夜 野にも山にも若葉茂る「茶摘み」の歌のごとく好季を迎えました。コロナ対策としてのマスク着用の緩和、2類から5類への移行となり個人の判断による感染対策が必要です。マスクの有無等で差別や偏見を招いたりしないように留意し、一人ひとりが笑顔で生活できる喜びを感じられる日を待ち望んでいます。

(広報編集委員 巽 周二)